

## 【資料】

(案)

### サブワーキンググループ（向殿SWG）検討会の目的、検討事項等

#### ○主な検討事項

1. 各団体が実施しているマネジメントシステムの導入状況、普及・有効活用させるために必要な支援内容等に関する実態調査を行い、その結果を集計、分析し、J I S原案作成委員会に対し申し入れを行う。併せて、実態調査の概要をとりまとめる。
2. 各団体が実施しているリスクアセスメントの実施方法等について実態調査を行い、結果を集計、分析し、共通事項としてとりまとめが可能な事項を洗い出すとともに、実態調査の概要をとしてとりまとめる。併せて、今後の検討スケジュールを決定する。設備点検等基準については、厚労省の委託調査事業に協力する。

#### ○当面の検討内容

1. 労働安全衛生マネジメントシステムに関する実態調査を行う。
2. 各団体が実施しているリスクアセスメントの実施方法等について情報共有を行い、共通事項としてとりまとめが可能な事項を洗い出すとともに、今後の検討スケジュールを決定する。

設備点検等基準については、厚労省の委託調査事業への協力を求める。

（三菱ケミカルリサーチから昨年度調査した「鉄鋼業における経年設備に係る自主点検の分析結果」を今年度は、装置産業全体を対象にして同じ調査と分析を予定。）

#### ○当面のスケジュール

- |     |    |   |
|-----|----|---|
| 6月  | 1日 | 官民協議会WGの開催  |
| 6月  | ×日 | 第1回サブワーキンググループ（向殿SWG）検討会の開催<br>・現状把握のための調査方法等の検討。 |
| 8月  | ×日 | 第2回サブワーキンググループ（向殿SWG）検討会の開催<br>・調査結果等を踏まえた検討。     |
| 9月  | ×日 | 官民協議会WGの開催<br>・進捗状況の確認<br>・全国大会発表内容の確認            |
| 10月 | ×日 | 第3回サブワーキンググループ（向殿SWG）検討会の開催                       |

## 【資料】

(案)

### 労働安全衛生マネジメントシステムに関する調査について

#### ○概要

災害防止に有効なMSを普及するために必要な事項を検討する。

その検討に当たり、

- ・MSの導入、定着状況
- ・MSを導入しない、定着しない背景、課題
- ・MSを普及・有効活用させるために必要な制度、支援等

を把握するために、MSに関する調査を行うとともに、調査結果の概要及びJIS委員会への意見をとりまとめる。

#### ○調査の方法

中災防では、本年度、MSに関する実態調査を行うことを予定している。

(対象は、中災防の賛助会員、サービス利用事業場など。)

この実態調査の対象に、WGメンバー団体の会員も加える。

また、調査結果はサブWGでの検討にも活用する。

具体的には、

##### ① 第1回サブWG (6月)

- ・実態調査の調査項目について意見する。(素案に基づき議論)
- ・WGメンバー団体から、調査対象として差し支えない会員企業リストを提供する。
- ・WGメンバー団体から、会員企業あて調査の協力依頼を発出する。

↓

中災防で実態調査の実施、集計 (7月中)。

##### ② 第2回サブWG (8月上中旬)

- ・実態調査結果(単純集計結果のみ)を踏まえた、災害防止に有効なMSを普及するために必要な事項等の検討・実態調査の概要をとりまとめる。

##### ③ 第3回サブWG (10月上旬以降)

- ・アウトプット(全国産業安全衛生大会まで)に向けて必要な検討を行う。

#### 【アウトプット(安全衛生大会まで)のイメージ】

- 1 MSに関する実態調査の概要のとりまとめ
- 2 マネジメントシステムの導入、普及・有効活用のために必要な支援内容等に係るJIS委員会への意見のとりまとめ

【資料】

(案)

リスクアセスメントに関する調査について

○概要

各団体が実施しているリスクアセスメントの実施方法等について実態調査を行い、結果を集計、分析し、共通事項としてとりまとめが可能な事項を洗い出し、実態調査の概要（RAの実施手法、業界ごとの違い、個社内における主体的作業の違いによる特徴など）としてとりまとめる。

併せて、標準化に向けた検討を実施するためスケジュールを決定する。

設備点検等基準については、厚労省の委託調査事業に協力する。

○調査の方法

WGメンバー団体を通じ、実態調査を行う。

具体的には、

① 第1回サブWG（6月中下旬）：実態調査の調査項目について議論

調査項目の検討・決定（素案に基づき議論）

第1回サブWG後の動き

調査項目が固まった場合には各団体を通じて会員企業あて、調査の依頼を実施する。

↓

会員企業から各団体あて、調査票の提出

※調査票は、企業単位でも、事業場単位でも、部門単位でも可。

↓

各団体において、回収、集計

↓

各団体から、集計結果を事務局（中災防）に提出

↓

整理（7月中）

（整理のイメージ案）

調査項目	A業界	B業界	C業界
・・・	67%	30%	..
・・・	30%	40%	..
・・・	..	..	..

↑

質問に回答した数（「はい」＋「いいえ」）に対する「はい」の数の割合

**② 第2回サブWG（8月上中旬）：実態調査結果（単純集計結果）**

実態調査結果（単純集計結果）を踏まえ、業界、作業の違い等による傾向を分析する。  
分析結果を踏まえ、リスクアセスメント手法の標準化に向けへ検討すべき事項と、今後のスケジュールを検討する。

**③ 第3回サブWG（10月上中旬以降）**

アウトプット（全国産業安全衛生大会まで）に向けて必要な検討を行う。

**【アウトプット（全国産業安全大会まで）のイメージ】**

- 1 リスクアセスメントの実施方法等について実態調査結果の概要のとりまとめ
- 2 リスクアセスメント手法の標準化に向けて検討すべき事項と、今後のスケジュール



●リスクアセスメント等の実施体制

実施体制	リスクアセスメント等の実施に当たって、どのような者が参画していますか。		
	事業場を総括管理する者(総括安全衛生管理者等)	はい	いいえ
	安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者	はい	いいえ
	労働者(安全衛生委員会等の活用を含む。)	はい	いいえ
	機械設備等に専門的な知識を有する者(外部を含む)	はい	いいえ
	その他【 】	はい	いいえ
	このうち危険性又は有害性の特定、リスクの見積り、リスク低減措置の検討に当たって、どのような者が参画していますか。	はい	いいえ
	作業内容を詳しく把握している職長、班長等	はい	いいえ
	設計・建設部門	はい	いいえ
	設備・保全部門	はい	いいえ
労働安全衛生部門	はい	いいえ	
生産管理部門	はい	いいえ	
その他【 】	はい	いいえ	
教育	リスクアセスメント等を実施する者に対して、必要な教育を行っていますか。		
	新たに配置された者に対し、配置の都度、教育を行っている。	はい	いいえ
	リスクアセスメントを実施する者に対し、定期的実施している。	はい	いいえ
	実施していない。(計画的な実施はしていないを含む)	はい	いいえ
	教育はどのように行っていますか。		
	社内において、社内講師により実施している。	はい	いいえ
社内において、外部講師等を活用して実施している。	はい	いいえ	
外部の研修機関等を活用して実施している。	はい	いいえ	
マニュアル等の整備	リスクアセスメント等を行う作業標準、手順書、マニュアル、様式等が作成されていますか。	はい	いいえ
システムのチェック	リスクアセスメント等が作業標準、手順書、マニュアル、様式等に従って適切に実施されているか、評価するシステム(公正かつ客観的な立場にある者による監査など。)がありますか。		
	企業内部の者(独立した監査部署など)による評価システムがある。	はい	いいえ
	企業外部の者(専門家など)による評価システムがある。	はい	いいえ

●リスクアセスメント等の実施(設備の新設・改造・補修や材料の仕入れ調達等の段階)

情報の入手	以下の情報を活用していますか。		
	作業標準、作業手順書	はい	いいえ
	仕様書、MSDS等に係る危険性有害性の情報	はい	いいえ
	機械設備のレイアウト、周辺状況等	はい	いいえ
	作業環境測定結果等	はい	いいえ
	混在作業による危険性、複数の事業者の同時作業の実施状況	はい	いいえ
	災害事例、災害統計等	はい	いいえ
	ヒヤリハットやKY活動などの安全衛生活動の結果	はい	いいえ
	その他【 】	はい	いいえ
	使用する機械や材料について、予めメーカー(供給者)においてリスクアセスメント(リスク低減方策を含む。)を実施しているか、確認していますか。	はい	いいえ

	機械設備等を使用・改造するときに、自ら管理権原を有しない場合に、管理権原を有する者の実施したリスクアセスメントの結果を入手していますか。	はい	いいえ
	複数の事業者が同一の場所で作業する場合に、元方事業者が混在作業による危険性についてリスクアセスメントを実施した結果を入手していますか。	はい	いいえ
	機械設備等が転倒するおそれがある等、危険な場所において混在作業を行う場合、元方事業者が実施したリスクアセスメント結果を入手していますか。	はい	いいえ
危険源の同定・特定	危険源の同定・特定をする際、活用している分類表はありますか。	はい	いいえ
	危険性又は有害性等の調査等に関する指針の別添3、ISO、JIS、GHS、ACGIH等で示された分類に即している。	はい	いいえ
	機械設備や作業等に応じて事業場があらかじめ定めた独自の分類を用いている。	はい	いいえ
	危険源の同定・特定に当たり、危険性又は有害性への付加的影響を考慮していますか。	はい	いいえ
	疲労について考慮している。	はい	いいえ
	集中力の欠如について考慮している。	はい	いいえ
	作業者の高年齢化について考慮している。	はい	いいえ
	その他【 】	はい	いいえ
	個々の危険源は、定量的な危険度を設定していますか。 (エネルギー、曝露閾値、など)	はい	いいえ
リスクの見積りと評価	リスクの見積りと評価に用いる要素には、何をしていますか。		
	危害のひどさ	はい	いいえ
	危険源の暴露の頻度及び時間	はい	いいえ
	危険事象の発生確率	はい	いいえ
	危害回避又は制限の可能性	はい	いいえ
	その他【 】	はい	いいえ
	リスクの見積りに当たって、留意していることはありますか。		
	予想される負傷又は疾病の対象者及び内容	はい	いいえ
	最悪の状況を想定した最も重篤な負傷又は疾病	はい	いいえ
	負傷又は疾病による休業日数等といった共通の尺度	はい	いいえ
	有害性が立証されていない場合でも、一定の根拠がある場合はその根拠	はい	いいえ
	安全装置、立入禁止措置の信頼性及び維持能力	はい	いいえ
	安全機能等を無効化する又は無視する可能性	はい	いいえ
	予見可能な意図的・非意図的な誤使用又は危険行動の可能性	はい	いいえ
	事業場として、受け入れ可能なリスクの基準を設けていますか。	はい	いいえ

リスク低減方策①	法定事項は必ず実施していますか。	はい	いいえ
	リスクの優先順位に基づいてリスク低減措置の実施の優先順位を決めていますか。	はい	いいえ
設備的方策の実施前確認	採用された設備的方策について、リスクの再評価を行い、リスクが適切に低減されるか確認していますか。(方策の妥当性確認)	はい	いいえ
残留リスク情報	設備的方策実施後に残るリスク(残留リスク)、使用上の情報等を把握していますか。		
	把握し、文書化している。	はい	いいえ
	文書化したものを現場に通知している。	はい	いいえ
リスク低減方策②	残留リスクに対する管理的方策(個人用保護具の使用を含む。)が適切に実施されるために、何をしていますか。		
	手順書等の作成・修正及び周知(説明機会の設定)や配布	はい	いいえ
	危険の見える化(掲示の実施等)	はい	いいえ
	関係する者に対する教育訓練の実施	はい	いいえ
	その他【 】	はい	いいえ
リスク低減方策の決定	検討されたリスク低減方策の決定は、どのレベルの者が行っていますか。		
	管理者(ラインの部長、課長等)	はい	いいえ
	経営層(経営トップ、役員等)	はい	いいえ
	その他【 】	はい	いいえ
	リスクアセスメント及びリスク低減方策で多額の費用を要する場合(設備の更新等)について、経営層に判断を仰いでいますか。	はい	いいえ
	多額の費用を要する設備更新を直ちに行うことができない場合、どのような代替措置(暫定措置)を実施していますか。		
	立入禁止等の措置	はい	いいえ
設備の使用停止	はい	いいえ	
労働者への警告	はい	いいえ	
	特に対応は行っていない	はい	いいえ
記録	リスクアセスメント及び低減方策について、記録の作成と保存を行っていますか。	はい	いいえ
情報の提供	残留リスク及びその管理的方策について、関係部署(関係請負人を含む。)に対し、文書化したもので情報を提供していますか。	はい	いいえ



●**リスクアセスメント等の実施（操業段階）**

リスクアセスメント等の実施	操業段階でリスクアセスメント、リスク低減方策を行っていますか。		
	行っている。	はい	いいえ
	行っていない。	はい	いいえ
リスク低減方策②の実施	仕入調達段階で実施しているので行う必要がない。	はい	いいえ
	設備的方策の実施後に残るリスク(残留リスク)、及びその管理的方策(使用上の情報を含む。)を確認していますか。	はい	いいえ
	管理的方策(個人用保護具の使用を含む。)が適切に実施(遵守)されていることを確認していますか。		
	作業当事者(現場管理者を含む)による点検・チェック。	はい	いいえ
	第三者的立場(他部署など。)からの監視・観察及びフォロー。	はい	いいえ
	設備的方策が実施されていない重大残留リスクに対し、予算確保やスケジュール設定等、設備的方策が実施されるまでの進行管理を行っていますか。	はい	いいえ

●**リスクアセスメント等の実施後の措置**

低減方策実施後の検証	リスク低減方策を実施後、低減効果を把握していますか。		
	把握している	はい	いいえ
	把握し、経営トップに報告している。	はい	いいえ
災害発生後の検証	労働災害が発生した場合、過去に実施したリスクの見積りと評価、リスク低減方策が妥当であったか、確認していますか。	はい	いいえ
リスクアセスメントの効果	リスクアセスメントを導入したことによって、労働災害は減少しましたか。	はい	いいえ
労働安全衛生マネジメントシステム	リスクアセスメントは、労働安全衛生マネジメントシステムの一環として実施していますか。	はい	いいえ

●**関係請負人への支援等**

リスクアセスメントの共通化	関係請負人がリスクアセスメントを実施している場合、共通の手法を用いることとしていますか。	はい	いいえ
リスクアセスメントの効果	関係請負人がリスクアセスメントを実施している場合、関係請負人に対し支援(教育、機会の提供、マニュアルの提供等)を行っていますか。	はい	いいえ
元方事業者による実施	関係請負人が機械設備等を使用・改造使用とするときに、自らが管理権原を有しない場合に、リスクアセスを実施していますか。	はい	いいえ
	複数の事業者が同一の場所で作業する場合に、元方事業者が混在作業による危険性についてリスクアセスメントを実施していますか。	はい	いいえ
	関係請負人が機械設備等が転倒する恐れがある等、危険な場所において混在作業を行う場合、リスクアセスメントを実施していますか。	はい	いいえ